頌徳会グループのご案内（令和元年12月1日現在）

日野病院 外来 診療時間表（堺市東区北野田626番地 TEL 072-235-0090）

●訪問診療　●訪問リハビリテーション　●訪問看護　●訪問服薬指導
●通所リハビリテーション
●時間外診療　有　●無料送迎バス運行（北野田駅⟷日野病院）
●無料巡回バス運行（「新金岡・三国ヶ丘」・「深井」方面）

診療	診療時間帯		予約制	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前 9:00～12:00 午後13:00～15:00（月） ◎急な風邪の症状や下痢・発熱等の比較的軽度な内科症状であれば、夜間、平日、日曜、祝日問わず、時間外診療を行っています。	午前	—	●	●	●	●	●	●	専門診療科と連携しつつ総合的な視野で診療を行っています 訪問診療も対応しています
脳神経外科		午前	—	—	●	—	—	●	●	脳神経全般に関する診断から治療までを行っています MRIによる検査も受付けています
整形外科		午前	—	●	●	●	●	●	—	レントゲン・CT・MRI撮影などにより診断・治療を行っています
外科・形成外科		午前	—	—	●	●	—	●	●	小さな外傷や皮膚腫瘍等の診療を行っています
神経内科		午後	○	●	—	—	—	—	—	訪問診療（脳梗塞等）も対応しています

日野クリニック 外来 診療時間表（堺市中区深井中町1248番地 TEL 072-276-5111）

●訪問リハビリテーション　●デイケア　メディカルフィットネス ソレイユ
●夜間・土曜診療　有　●無料送迎バス運行（深井駅⟷日野クリニック）

診療	診療時間帯	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	一般内科の他、循環器、呼吸器疾患を主に診療しており、胃カメラ、超音波などの検査が可能です
	午後 13:30～16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	●	●	—	●	—	
整形外科	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	レントゲン・CTなどを利用して総合的に診断しています
	午後 13:30～16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	●	●	—	●	—	
リハビリテーション	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	理学療法士によるリハビリテーションを行っています （受け付けは、終了時間の30分前までとなっています）
	午後 13:30～16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	●	●	—	●	—	
皮膚科	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	皮膚疾患の他、膠原病、リウマチ疾患も診断しています
	午後 13:30～16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	●	●	—	●	—	
アレルギー科	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	乳児の食物アレルギーも診断しています （土曜日は第1・3・5週に診療を行っています）
	午後 13:30～16:30	—	—	—	—	—	—	
	夜間 17:30～19:30	●	—	●	—	●	—	
形成外科	午前 9:00～12:00	●	—	●	—	—	—	水曜日午後診のみ予約制で手術を行っています ほくろ・脂肪腫・ひきつれ等以外にも様々な疾患を取り扱っていますので、ご相談ください
	午後 13:30～16:30	●	—	●	—	—	—	
	夜間 17:30～19:30	—	—	—	—	—	—	
禁煙外来	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	—	保険診療による禁煙治療を行っています 初診の方は午前及び午後のみ診療を行っています
	午後 13:30～16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	—	●	—	●	—	
腎臓内科	午前 9:00～12:00	—	—	●	—	●	—	腎臓病と腎臓病に付随する疾患の診断と治療を行っています （完全予約制）
	午後 13:30～16:30	—	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	—	—	—	—	—	—	

日野クリニック 血液浄化（人工透析・血漿交換など）時間表

診療	診療時間帯	月	火	水	木	金	土	備考
早朝透析	6:00～	—	●	—	●	—	●	穿刺時痛の軽減を図るためにペイレスニードルによるボタンホール穿刺を行っています 1日を有意義にすごしていただくために朝6時からの早朝透析を行っています。 ※無料送迎バス完備
午前透析	8:30～	●	●	●	●	●	●	
午後透析	～17:00	●	●	●	●	●	●	
夜間透析	～22:00	●	—	●	—	●	—	

介護老人保健施設 ソルヴィラージュ	堺市東区北野田636番地	TEL 072-235-5800	●入所・ショート（短期入所）：150名　●デイケア：100名
介護老人福祉施設 ソルメゾン	堺市東区菩提町2丁62番地1	TEL 072-288-2008	●入居：80名／ショート（短期入所）：20名　●デイサービス50名
おひさまケアプランセンター	堺市東区北野田626番地	TEL 072-235-7722	［ケアマネージャーが要介護認定の申請代行等、介護サービス利用のお手伝いをします］

★最新情報をホームページ http://www.syo.or.jp/に掲載しています。ご見学、ご相談など随時承っていますので、お気軽に各施設までお問い合わせください。

VEGETABLE OIL INK
地球環境保護のため、この印刷物はベジタブルインキを使用しています。
また、有害廃液を出さない水なし印刷方式で印刷しています。

頌徳会グループ広報誌「ひだまり」2020 冬号　Vol.II No.50　発行／社会医療法人 頌徳会 総務部　★ご希望の方に無料配布します　デザイン／so much

頌徳会・頌徳福祉会と地域を結ぶ情報誌

ひだまり

2020 冬号
Vol.II No.50

社会医療法人 頌徳会
社会福祉法人 頌徳福祉会
日野病院
日野クリニック
介護老人保健施設ソルヴィラージュ
介護老人福祉施設ソルメゾン

CONTENTS

2 特集
大川 弥生先生講演会「防ごう！不活発病」を行いました
4 頌徳会グループお役立ち情報
7 理事長コラム
8 頌徳会グループのご案内

おかげさまで
頌徳会グループ創業
40周年

「目標指向的介護の理論と実際−本当のリハビリテーションとともに築く介護の著者」

大川 弥生先生講演会「防ごう！不活発病」を行いました

広報誌‘ひだまり’では、頌徳会グループ全体で取り組んでいる『目標指向的アプローチの実践』について、2019年春号から3号連載で掲載してまいりました。

昨年11月27日（水）にこの理念を提唱されている大川弥生先生に当会へお越しいただき、「防ごう！不活発病」というタイトルで、講演していただきました。

大川 弥生先生プロフィール

佐賀県生まれ。久留米大学医学部大学院修了、医学博士 元東京大学助手、元帝京大学助教授、元国立長寿医療研究センター生活機能賦活研究部部長。専門は、生活機能学、リハビリテーション医学、介護学。

著書

- 目標指向的介護の理論と実際−本当のリハビリテーションとともに築く介護 2000.5 中央法規出版
- 新しいリハビリテーション−人間「復権」への挑戦 2004.2. 講談社現代新書
- 「よくする介護」を実践するためのICF の理解と活用 目標指向的介護に立って 2009.7 中央法規出版
- 「動かない」と人は病む−生活不活発病とは何か 2013.5. 講談社現代新書

◆「防ごう！不活発病」講演ポイント！～大川先生はこう語られました～

①ICF(国際生活機能分類) について～生活不活発病を考察する上での基本概念～
②災害時における生活不活発病について
③生活不活発病の予防・改善とは

▶楽しみたいことを楽しみ、色々な活動を行うことが困難になった時、どうやって工夫をすればうまくできるのか、不自由があっても「これがやりたい」と思うことをどうやって引き出すのか、これが専門職としてできること。

▶例えば更衣において、夏場は薄着のため自立できていても、冬場は厚着のため介護が必要になるといった限定型自立ではなく、1年もしくはもっと先を考えた対応を行うべきです。

▶（生命の花を咲かせます・生きる力を支えます・力を活かして支えます：頌徳会グループ理念）生きるというのはただ生きていればいいということではなく、生きることをもっと正面から把握して支えていく。ただ目の前にある能力だけを支えるのではなく、ご本人の力を活かして支えていく。皆さんたちの力を活かして支えていくということではないかと思います。

▲講演には多数の職員が参加

◆講演会 参加職員からのコメント

豊島 茂副院長 ※令和2年4月1日に院長就任

「生活不活発病」という病気が、知らない間に拡がっています。ご自身だけでなく、身近なご家族に忍び寄っているかもしれません。

この問題に早期に気づき、ご尽力されてこられた大川弥生先生のご講演を拝聴する機会を得ました。様々な病気やけがを契機に、少しずつ活動性が低下し、心身共に力を失っていく恐ろしい病態です。

日野病院では、従来より行っているリハビリテーション治療をより強化する目的で、個々の患者さんの病態だけでなく、適した生活環境、活動性や周囲との関わりなど、生活全般に対して深くふれあい、さらに細部に配慮して実践的なリハビリテーション治療を進めていくことの確信を新たに得ることができました。

宮本 憲整形外科部長 ※令和2年4月1日に副院長就任

大川先生のご講演を拝聴させていただき、「生活不活発病」について再度考え直すことができました。

患者さんを中心に、ご家族も含めたこれからの生活に目標を設定し、「ONE TEAM」となり、あらゆる方向からのサポートを行い、共に参加していただくリハビリテーションが望ましいことを後押ししていただきました。日野病院は現在行い、さらにはこれから作り上げていく姿であると再認識しました。

スタッフがチーム一丸となり皆さんのお手伝いをさせていただきますので、何なりとご相談してください。

西川 学医師

現在当院のスタッフが一丸となって取り組んでいるのが、「患者さんの実生活に即したリハビリテーション」です。

大川先生のご講演を拝聴させていただき、
①患者さんとそのご家族とよく話し合うこと
②ご自宅での生活動作一つひとつを想定して具体的な目標を設定すること
③患者さんにその力を最大限に生かしていただいて、目標を達成すること
以上の重要性が非常によくわかりました。

▲職員からは活発な質問も！

山崎 和彦リハビリテーション室副室長

大川先生のご講演を拝聴し、特に印象に残ったお話があります。それは、‘安易な車いすの使用によって歩行自立の可能性の芽を摘んでいないか’ということです。

最近、敷地内の遊歩道にある「東屋でのお茶会」というレクリエーションを行っていますが、移動の際にほぼ全員が車いすを使用していました。

今後は、セラピストが※1「できる活動」を見極め、歩行自立可能と思われた患者さんには車いすではなく、歩行補助具や装具等を用いて、さらに日常生活として行う※2「している活動」として身に着けるための練習に取り組んでいきたいと思います。

※1「できる活動」：訓練や評価の場面で発揮できる活動の状況のこと。
※2「している活動」：毎日の実生活の中で実行している活動の状況のこと。自宅での生活だけではなく、入院・入所中であれば病棟・居室棟での生活のこと。

日野病院　令和1年10月1日付けで、豊島 茂副院長と宮本 憲整形外科部長が就任しました。

副院長就任のご挨拶

※令和2年4月1日に院長就任

この度、10月1日付で日野病院に副院長として就任しました豊島 茂（てしましげる）と申します。

平成6年に関西医科大学を卒業し外科医として25年になります。一般・救急外科、消化器外科、乳腺外科を専門としていました。また、8年前より回復期リハビリテーション病棟の専従医師をしています。

様々な経験と知識を活かしながら、他の職員と協力して少しでも多くの患者さんのお役に立てるよう尽力してまいりますので、よろしくお願いします。

整形外科部長就任のご挨拶

※令和2年4月1日に副院長就任

皆さんこんにちは。整形外科の宮本 憲（みやもと のりき）と申します。この度ご縁があり、10月1日より日野病院で勤務することになりました。大学を卒業してから急性期病院にて手術を中心に患者さんに接してまいりました。

今後は今までの経験を活かしながら、地域医療に携わっていきたいと考えています。よろしくお願いします。

― 入院されていた患者さんから心温まるお手紙をいただきました ―

3月から3つの病院に入院して4番目がここ日野病院でした。10数年間毎年のように入院しておりましたが、今年は最も辛い年で、肺炎、骨折、さらには感染症でＩＣＵ（集中治療室）のお世話にもなりました。今までの入院経験の中で日野病院は私にとって、最高の病院、であると言えます。

その理由をあげますと、まず環境が素晴らしく大変清潔な病院であることです。日曜日までお掃除されている病院なんて見たことがありません。次には、看護師さん、理学療法士の皆さんがとても細やかな気遣いをしてくださったことです。いつもは「早く家に帰りたい」と言ってしまうのですが、こちらでは3ケ月の入院生活が快適であっという間にすぎてしまいました。

そして、何と言ってもリハビリテーションの素晴らしさです。今まで入院していた病院では、平均して1日2回、しかも1回の時間が30分から40分程度でしたが、日野病院は1日3回、合計2時間40分もあるのです。最初はしんどくて休ませてほしいという気持ちになりましたが、慣れてくると回復がとても早いのです。機械も大変充実していて、私は'ユニバーサルコアフレーム'で歩行練習を行っていました。初めの1歩すら出なかったのが、15kg体を釣り上げてもらうと徐々に歩けるようになりました。人工の脚を骨折したため、以前の病院から「歩くことができるかどうかわからない」と言われていたのですが、3ケ月リハを行って歩行器を使って歩けるようにまでなったのです。「リハの効果が本当にあるのか？」と思われるような患者さんでも、皆さん歩けるようになって退院していかれました。

日野病院には本当に感謝しています。「リハビリテーションの力は素晴らしい！」それにつきます。ありがとうございました。

青木 通子

頌徳会グループ

『頌徳会グループ創業40周年記念 花火大会』を開催しました。

令和1年10月16日（水）に頌徳会グループ創業40周年を記念し、日野病院の入院患者さん、ソルヴィラージュ入所のご利用者及びソルメゾン入居のご利用者の皆さんを対象に花火大会を開催しました。

夜になると、昼間の暖かさから一転して肌寒くなりましたが、皆さんにはカイロやタオルケットで寒さ対策をしていただきました。

カウントダウンと共に打ち上げ花火が上がると、「わあ～！」と大歓声の後、一斉に拍手喝采でスタート。吹き出し花火や、斜めに上がる打ち上げ花火、火が輪になって回ったりと次々と仕掛け花火のショーが繰り広げられ、おなじみのナイアガラでフィナーレを迎え、大盛況のうちに無事に終了しました。ご協力いただきました近隣・地元の皆様には厚く御礼申し上げます。

患者さん・ご利用者の声

- 今まで頑張ってリハをしてきて良かった。こんな花火初めて見た。
- 夜にお出かけできて、花火も見れて楽しかった。

来年も皆さんに喜んでいただけるよう、さらにパワーアップした花火大会を開催したいと思います。

頌徳会グループ　防犯講習会を実施しました

頌徳会グループでは、今年も職員を対象に'防犯講習会'を実施しました。当日は黒山警察署の方々を講師に迎えて、'特殊詐欺被害防止対策''さすまたの使用方法''護身術の方法'を指導いただき、訓練を行いました。

目的　①職員の防犯意識の醸成 ②不審者等への対応力向上 ③特殊詐欺等に対する理解と地域での被害防止

▲両手でつかまれた場合の護身術の様子

但し、護身術は万一の際に身を守るもので、普段から以下のことが重要であることを学びました。

① 暗い道を避ける
② 連絡を取れるよう携帯を準備
③ 防犯ブザーの携帯
④ 夜道ではヘッドホンで音楽を聴いたりスマホを視聴しながらの歩行は危険

参加した職員からは、「定期的な講習会・訓練の重要性を感じた」との声が多く、今回の防犯講習会で指導いただいたことを参考に、グループ各施設の防犯体制の強化に努めてまいります。

介護老人福祉施設 **ソルメゾン**

お食事イベント 天ぷら実演の様子

ソルメゾン入居・ショートフロアにて、10月に各ユニットごとに天ぷら実演のお食事イベントを開催しました。

海老とさつまいもの天ぷらをご利用者の皆さんの目の前で揚げ、アツアツを提供させていただきました。

皆さんこの日を楽しみにされていたようで、「揚げたてはやっぱり美味しいわ」、「このサクサクがいいね」と大変喜んでいただきました。皆さんには食欲の秋を十分にご堪能いただけたようです。

今後もユニット毎で実演料理など様々なお食事イベントを企画してまいりますので、楽しみにしていただければと思います。

▲「ジュー！」という音と天ぷらの揚げる香りが皆さんの食欲をそそります

◀アツアツの大きな海老を前に満面の笑み！

2019年 9月13日(金) 開催

各フロア敬老会の様子

今年も各フロアで趣向を凝らしたプログラムによる‘敬老祭’を開催しました。

▲さあ、うまくお口で受け止められるかな？

ソルメゾン敬老祭2019プログラム

午前の部

デイサービス：職員による劇‘水戸黄門’
ショートステイ：運動会
2　　F：職員による‘ヒゲダンス’、‘二人羽織り’
3　　F：運動会
各フロア：『長寿のお祝い』

午後の分

ボランティアバンド『JESSY』コンサート

▲長寿お祝いの表彰式も行われました

日野クリニック

管理栄養士による情報通信『食生活通信』のご紹介

日野クリニック栄養課では、一般外来と透析外来において医師の指示のもと栄養指導を行っています。その内、透析患者さん向けに発行している『食生活通信』をご紹介します。

- **発行の目的：治療に欠かせない食事コントロールを無理なく続けていただくため**
- **主 な 内 容：1.体調コントロールのためのお役立ち情報**
  2.カリウム・リンに配慮した簡単減塩レシピ

患者さんからは、「毎月楽しみにしています」とのお声をかけていただいています。今後も、患者さんの治療のお役に立てるよう様々な情報をお届けしてまいります。

▲食生活通信（10月号）

理事長コラム

リハビリテーション

理事長 日野 頌三

特集ページでもご紹介した通り、昨年11月にリハビリテーション勉強会の一環として「生活不活発病」の提唱者であり、元・国立長寿医療研究センター生活機能賦活研究部部長の大川弥生先生をお招きし、講演会を開催しました。本当の意味での患者さん、ご利用者中心のキュアとケアはどうあるべきか、これまで追究された成果やご経験を交えて詳らかにお話いただきました。職員にはこの講義から学んだことをしっかりと理解して、サービスに繋げて欲しいと思っています。

特に私が印象深かったのは、当会の理念「生命の花を咲かせます 生きる力を支えます 力を活かして支えます」に触れながらお話いただいた、患者さん、ご利用者を尊重することが何より大事だということ、即ち、リハビリテーションの本来の意味が「全人的復権」である、という点です。「全人的復権」という言葉は大川先生の師にあたる元・東京大学医学部教授、東大病院リハビリテーション部部長の上田敏先生が最初に言われた言葉です。全人間的な復権，あるいは全人間的な尊厳の回復を本当に実現しようとする場合にまず必要なのは，患者さんや障害をもった方を「全人間的にみる」こと、「全人間的にみる」とは心身機能だけでなくその方の生活・人生をみることを意味します。これは創業当初から私が心がけてきたことで、職員にもそうあって欲しいと思っています。当会グループのサービスを介して、患者さんやご利用者の生活が少しでも豊かになるようなお力添えをすることがわれわれの使命だと考えています。

介護老人保健施設 **ソルヴィラージュ**

令和1年9月14日（土）

堺市主催 平成30年度 『働きやすく魅力あふれる事業所』表彰式

ひだまり夏号（48号）に掲載しましたが、堺市主催の平成30年度『働きやすく魅力あふれる事業所』にソルヴィラージュが選ばれました。この度、表彰式が執り行われました。同時に「さかい福祉と介護の実践」の発表会も行われ、ソルヴィラージュは「経口維持の取組み」を、ソルメゾンは「厨房自営化の取り組み」について発表しました。

有時施設長代理より

施設代表として、表彰式に参加させていただき、改めて名誉のある賞をいただいたことを誇りに思い、今後も、より一層、働きやすく魅力あふれる法人として維持向上が図れるように職員一丸となり力を合わせていきたいと思います。

頌徳会グループ 理念　生命の花を咲かせます　生きる力を支えます　力を活かして支えます